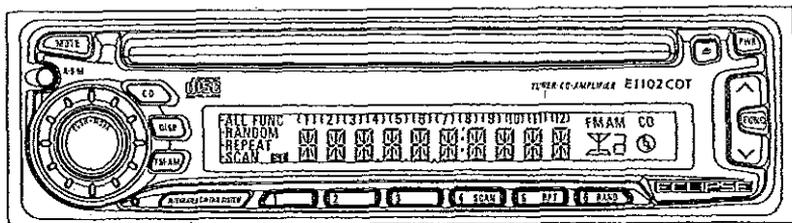


ECLIPSE

CDメインユニット

E1102 CDT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機は、DC12V-アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。
火災の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ディスク挿入口に異物を入れない。
火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。
発煙、発火、感電の原因となります。

 **警告**

- 音が出ないなどの故障状態で使用しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規程容量(アンペア数)のヒューズを使用する。
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に、CD等の交換をしない。
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ビニール袋をかぶらない。
大きな事故や窒息死の原因となります。

⚠ 注意

- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- アンプ放熱部に手を触れないでください。
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
- 電源 ON 時は、ボリュームの位置に注意してください。
電源 ON 時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。
火災の原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆（視力低下の原因）をもたらしたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源のスイッチを切り、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目次

使用上のご注意	7
本機をお使いになるうえでのお願い	7
コンパクトディスク (CD) について	8
コンパクトディスク (CD) の清掃について	11
各部の名称	12
基本操作	13
電源を入れる / 切る	13
CDを聞く	13
ラジオを聞く	14
音量を調節する	15
本機をリセットする	15
時刻の設定	16
その他	17
CD部の操作	19
CDを聞く	19
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	20
曲の始めの部分を演奏する (SCAN)	20
繰り返し演奏する (REPEAT)	21
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	21
ディスクを取り出す	21
チューナ部の操作	22
自動的に放送局を記憶させる	22
手動で放送局を記憶させる	23
記憶させた放送局を確認する	24
FM放送について	25

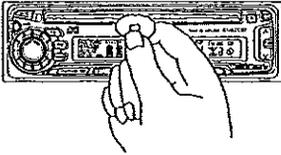
インフォメーションが点減する	28
トラブルシューティング	28
困ったときは	29
仕様について	31

◆使用上のご注意

本機をお使いになるうえでのお願い

◎安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



◎確認しましたか？

- ・本機は左のマークの付いたコンパクトディスクのご使用をお勧めします。
- ・本機は音楽専用のCD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-Rewritable) の再生が可能です。
- ・MP3ファイル形式のCD-R/CD-RWは再生できません。

◎いれていませんか？

ディスク差し込み口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないよう特にお子様のいたずらに注意してください。



◎激しい振動をあたえないで！

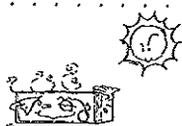
悪路を走行中、激しく振動した場合、音とびをすることがあります。このようなときは、路面のよい道路に出たからご使用ください。



◎結露現象について

寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、デッキ内部にも露（水滴）を生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

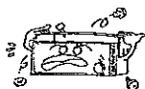
使用上のご注意



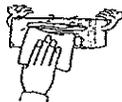
- ◎ 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてから本機をお使いください。



- ◎ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったりかかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



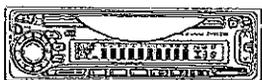
- ◎ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



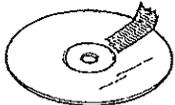
- ◎ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

コンパクトディスク (CD) について

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



- ✕ ◎ ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。そりの原因になります。ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



- ✕ ◎ 信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



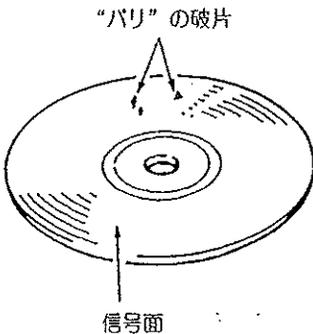
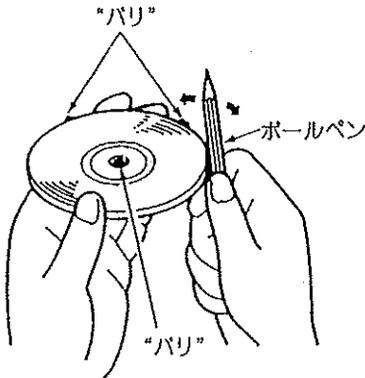
- ✕ ◎ ディスクはデッキ内部で高速回転しますので、ヒビがはいたり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



- ◎ 記録面に触れないように取り扱いってください。

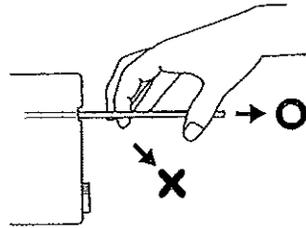
新しいCDについて

・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているCDを使用すると、デッキに、入らなかったりします。また、使用中に“バリ”の破片がCDの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



CDの取り出しかたについて

◎本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。

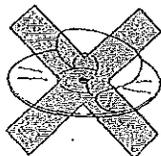


レンタルCDについて

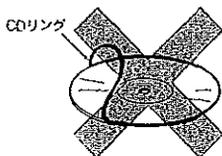
・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CD用アクセサリについて

- ・音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は、使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

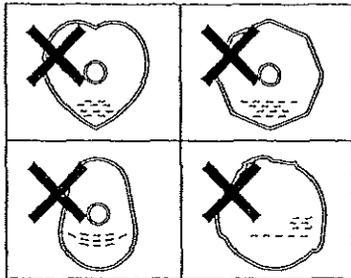


- ・音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



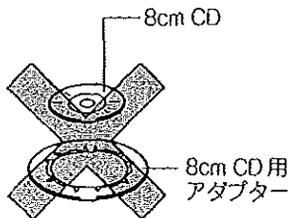
特殊形状CDについて

ハート型や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



8cm CDについて

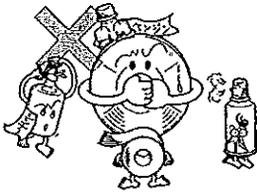
- ・本機では8cm CDをアダプターなしで再生することができます。
- ・8cm CDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。



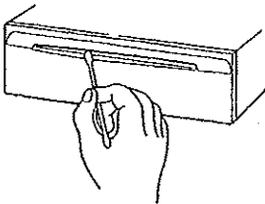
コンパクトディスク (CD) の清掃について



- ◎ ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



- ◎ ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナなどは使用しないでください。



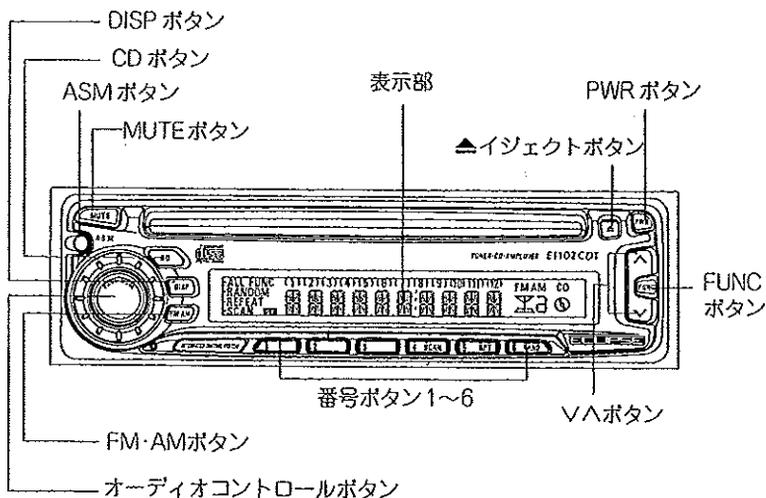
- ◎ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入するとディスクに傷が付くことがあります。

◆各部の名称

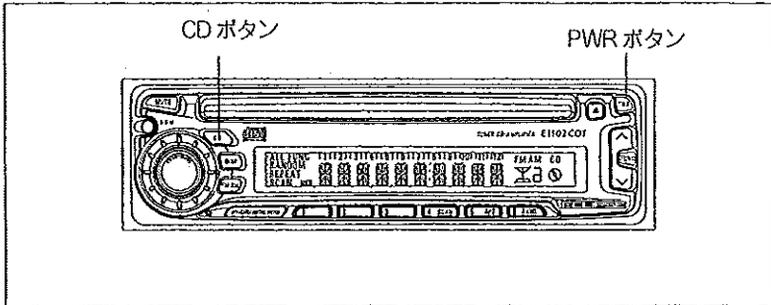
本機のおもなボタンを紹介します。

詳細は、各操作の説明を参照してください。(CDの操作19ページ、チューナの操作22ページ)

本機正面



◆基本操作



本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。
詳しくは、機能別の説明を参照してください。

車両のキーをONにすると時間帯によりメッセージがスクロールします。

■電源を入れる／切る

1. ^{パワー} [PWR] ボタンを押す
ボタンを押すと、電源が入ったり切れたりします。

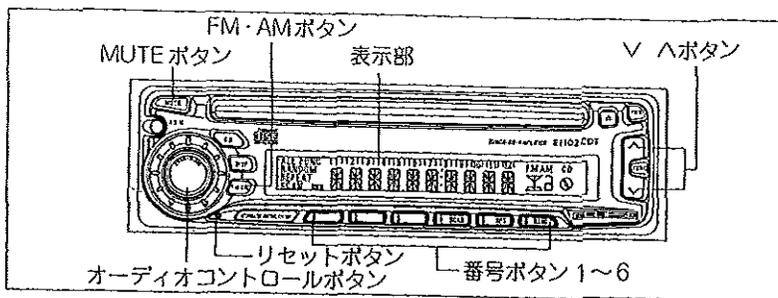
■CDを聞く

以下の手順でCDを聞きます。

1. 挿入口にレーベル面を上にしてディスクを挿入する
自動的にディスクを引き込んで、演奏を開始します。



すでにCDが装てんされているときは、[CD] ボタン押すと演奏を開始します。



■ ラジオを聞く

1. [FM・AM] ボタンを押す
チューナの操作に切り換わります。
2. [FM・AM] ボタンを押して、FM/AMを切り換える
ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。
3. [∨ ∨] ボタンを押して、放送局を選択する
[∨ ∨] ボタンを短めに(1秒未満) 押すと手動で、
長めに(1秒以上) 押すと自動的に放送局を探します。
∨ 周波数の高いほうへ選局
∨ 周波数の低いほうへ選局

ワンポイント

放送局を記憶させてある場合は番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押して、放送局を直接選択できます。(「手動で放送局を記憶させる」23ページ参照)

■ 音量を調節する

- 1 ■ [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
左に回す ... 音量が小さくなる
右に回す ... 音量が大きくなる



瞬時に音量を小さくしたいときは、[MUTE] ボタンを押します。もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[オーディオコントロール] ボタンを右方向に回すと MUTE 解除されます。

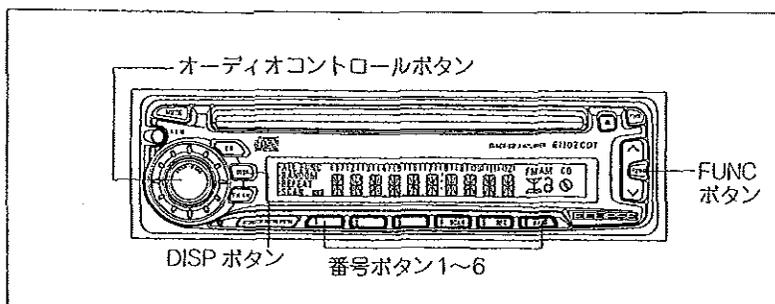
■ 本機をリセットする

表示部が正しく表示されなかったり、本機が正しく動作しないときは、以下の手順で本機をリセットします。

- 1 ■ [リセット] ボタンを押す
ペン先などでボタンを押してください。



リセットすると、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されますので、もう一度、セットしなおしてください。



■時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM0:00、正午はPM0:00と表示されます。

1. ^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押して、時計表示に切り換える

2. ^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押しながら番号ボタン [1] または番号ボタン [2] を押す

時間を調節します。番号ボタン [1] 数字が減る
番号ボタン [2] 数字が増える

3. ^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押しながら番号ボタン [3] または番号ボタン [4] を押す

分を調節します。番号ボタン [3] 数字が減る
番号ボタン [4] 数字が増える



00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押しながら番号ボタン [5] を押します。

正時合わせは、30分単位で切り換わります。

例)

PM3:29 → ^{ディスプレイ} [DISP] ボタン + 番号ボタン [5] → PM3:00

PM3:30 → ^{ディスプレイ} [DISP] ボタン + 番号ボタン [5] → PM4:00

■ その他

その他、本機には次のような機能があります。

▼ ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンを解除できます。

1. [FUNC] ボタンを押す
2. 番号ボタン [6] を押す
「BEEP OFF」と表示されます。
3. 再度 [FUNC] ボタンを押す

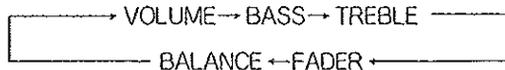


再びガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。

▼ 出力レベルを調整する

以下の手順で出力レベルを調整します。

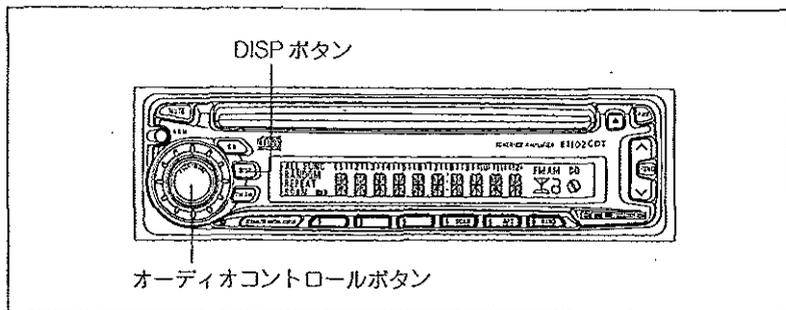
1. [オーディオコントロール] ボタンを1秒未満で押すごとに次のように切り換わります。



2. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回して調整する
右 ... 強調する
左 ... 弱める



- ・ただし、オーディオコントロールモード表示無し時からボタン操作された場合のみ、VOLUME モードからモードを開始します。
- ・BASS、TREBLEは各ソース（AM、FM、CD）ごとの調整となります。



▼ラウドネスの設定

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1. 「LOUD ON」と表示されるまで【オーディオコントロール】ボタンを長めに押す



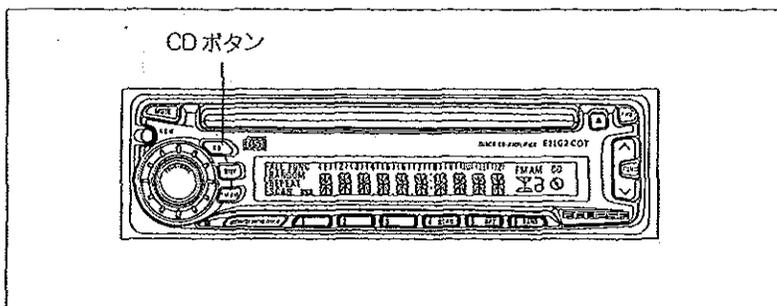
ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。

▼表示を切り換える

1. 「DISP」ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

チューナモード…周波数→時計
CDモード ……トラックNo./経過時間→時計

◆ CD部の操作



ここでの操作は、[CD] ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにCDを装てんしていることを前提に説明します。

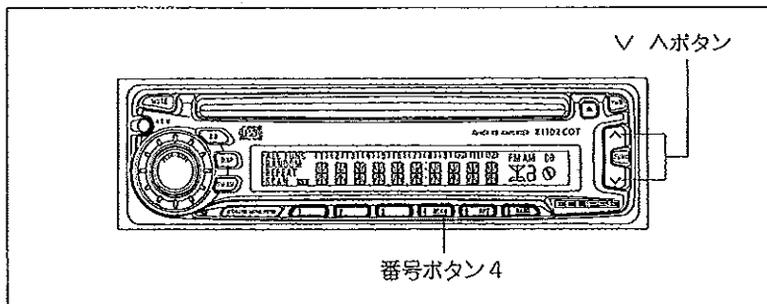
■ CDを聞く

1. [CD] ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

●注意●

演奏中のCDに傷があると、音が途切れることがあります。



■ 次の曲に進む / 曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

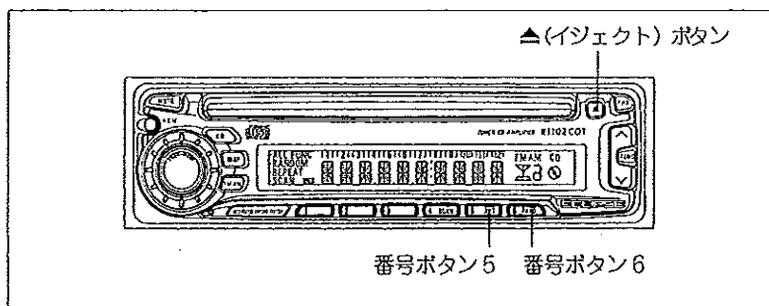
1. [V 入] ボタンを押す
△ ... 次の曲に進む
▽ ... 演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押し続けると、演奏中の曲を早送り（△方向）または早戻し（▽方向）します。

■ 曲の始めの部分スキヤンを演奏する (SCAN)

1. 番号ボタン [4] を押す
演奏しているCD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。



■ 繰り返し演奏する (REPEAT) ^{リピート}

- 1 ■ 番号ボタン [5] を押す
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

■ 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM) ^{ランダム}

- 1 ■ 番号ボタン [6] を押す
演奏しているCD内の曲を順不同に演奏します。
まれに同じ曲が続けて選択されることがありますが故障ではありません。

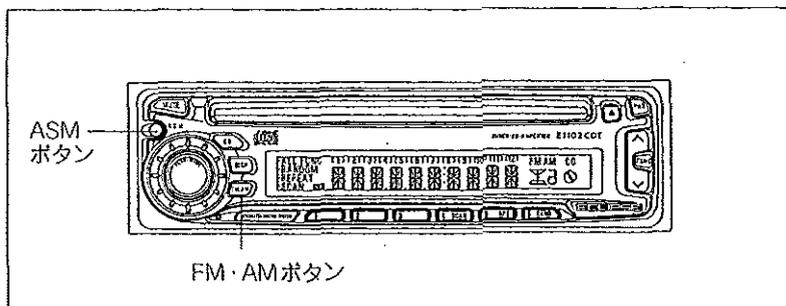


「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ ディスクを取り出す

- 1 ■ [▲ (イジェクト)] ボタンを押す
装てんされているディスクが排出されます。

◆チューナ部の操作



ここでの操作は、[FM・AM] ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。
放送局を記憶させるには、自動と手動の2通りの方法があります。

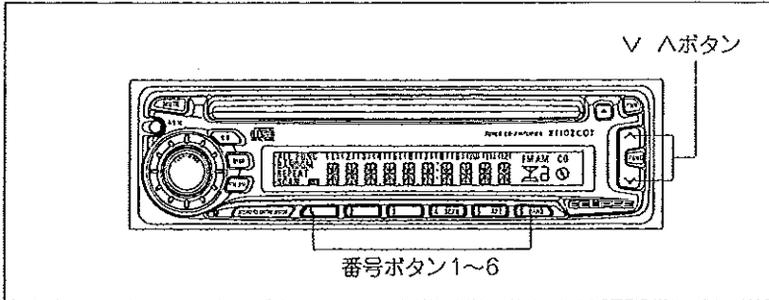
本機はFM 1、FM 2 が各6局、AM 1、AM 2 が各6局の合計24局を記憶できます。

■自動的に放送局を記憶させる

- 1 ■ 「ASM ON」と表示されるまで [ASM] ボタンを長めに押す
周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。
受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。
「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。

ワンポイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ご希望の放送局がメモリーできなかった場合は、手動で放送局を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」23ページ参照)



■手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送局がメモリできなかった場合など、手動で放送局を選局する方法を説明します。

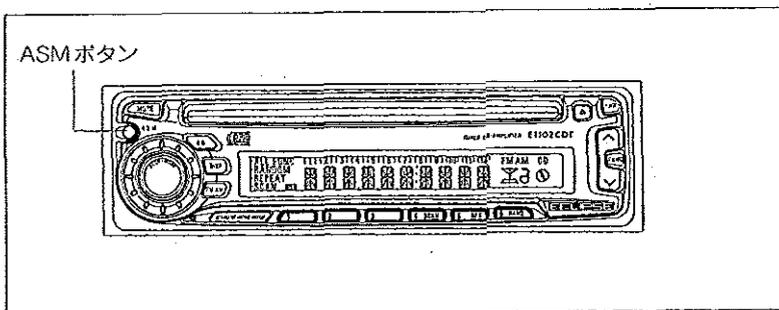
- 1 ■ [V ^] ボタンで記憶する周波数に合わせる
- 2 ■ [P 1~6 MEMORY] と表示されるまで任意の番号ボタン [1] ~ [6] を押す
選択した放送局が番号ボタンに記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。



番号ボタンを押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

●注意●

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンの操作をしたときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



■記憶させた放送局を確認する

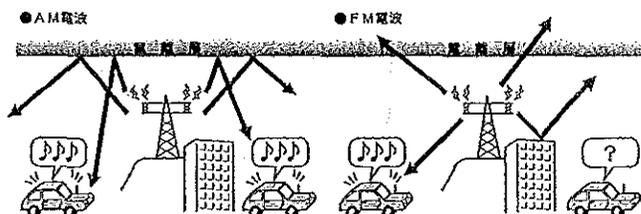
- 1 ■ [ASM] ボタンを短かめに押す
「P SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。
再度 [ASM] ボタンを押すと解除されます。

■ FM 放送について

FM 放送は、普通のラジオ放送 (AM) に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM 電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1 ■ FM 電波の直進性

FM 電波は、AM 電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もでてきます。したがって FM 電波の受信範囲は、AM 電波に比べてかなり狭くなります。



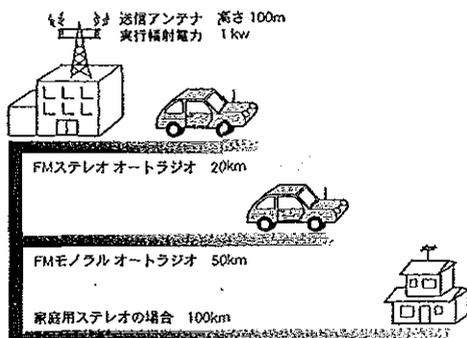
2 ■ フェードアウト

FM 放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャツ、シャツ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3 ■ FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナの形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

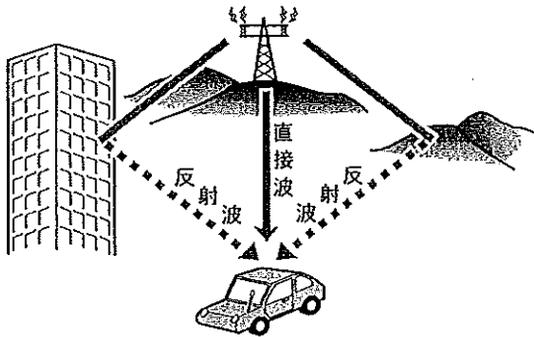
電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。



(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差があります。)

4 ■ マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女性のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播) ひずみといいます。このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させてください。



◆インフォメーションが点滅する

■トラブルシューティング

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

インフォメーション	状態	対処
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナー等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
5	メカトラブル	<ul style="list-style-type: none">・ イジェクトボタンを押して一度ディスクを出し、再度ディスクを挿入して再生してください。・ イジェクトしてもディスクが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

症状が改善できない場合は、機器の故障が考えられます。
お求めの販売店にお持ち込みください。

◆困ったときは

	症状	原因	処置	参照ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	15
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	15
		フェーダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェーダー、バランスを適正な位置に調整してください。	17
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	メモリした周波数が消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	22,23
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	17

困ったときは

	症状	原因	処置	参照ページ
C D	ディスクが入らない。ディスクを入れてもすぐ出てくる。または、ディスクが排出できない。ディスクチェンジができない。	ディスクにラベルやシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにはラベルやシールなどを貼り付けないでください。	8
		ディスクにバリや変形、破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。バリのあるディスクは、バリを取り去ってご使用ください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	9
	音が飛ぶ。音が途切れる。音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	
		取付角度は適正ですか。取付にガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていませんか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	7
その他、ディスクに記録されている音楽ソースの音質やトラブルなどが考えられます。		ご購入の販売店にて点検を行ってください。		
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	22 23
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。(放送サービスの無い地域もありますのでご注意ください)	22 23
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。		ご購入の販売店にて点検を行ってください。

◆仕様について

CD部

周波数特性	20～20,000Hz
ダイナミックレンジ	93dB
S/N比	95dB (IHF-A ネットワーク)
ステレオセパレーション	68dB
高調波歪率	0.03% (0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

チューナ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	15dBf (新IHF)
周波数特性	30～15,000Hz
ステレオセパレーション	38dB

チューナ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	20 μ V (S/N20dB)

共通部

トーンコントロール	BASS \pm 10dB (100Hz) TREBLE \pm 10dB (10kHz)
ラウドネス	100Hz: +10dB / 10kHz: +6dB
最大出力	30W \times 4
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
出力レベル (LINE-OUT)	330mV \angle \pm 20dB
電源電圧	DC13.2V (11～16V) ⊖アース専用
消費電流	約3A (1W \times 4出力時)、約13A (最大)
寸法	178mm (幅) \times 50mm (高さ) \times 158mm (奥行)
重量	約1.4kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081 (代表)

090002-24930700
0112DE(N)